

2014年 6月期 第2四半期

# 決算 説明会

# 目次

1. 決算の概要	.....	3
2. セグメント別の状況	.....	15
3. 2014年6月期の見通し	.....	22
4. 中長期的視野に立った経営方針	.....	28
5. 事業TOPICS	.....	41

## 【本資料についてのご注意】

- ・ 本資料の記載金額は原則、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・ 本資料に記載されている会社名、システム名、製品名は、一般に株式会社構造計画研究所ならびに各社の商標または登録商標です。

# 1

## 決算の概要



# 決算ハイライト

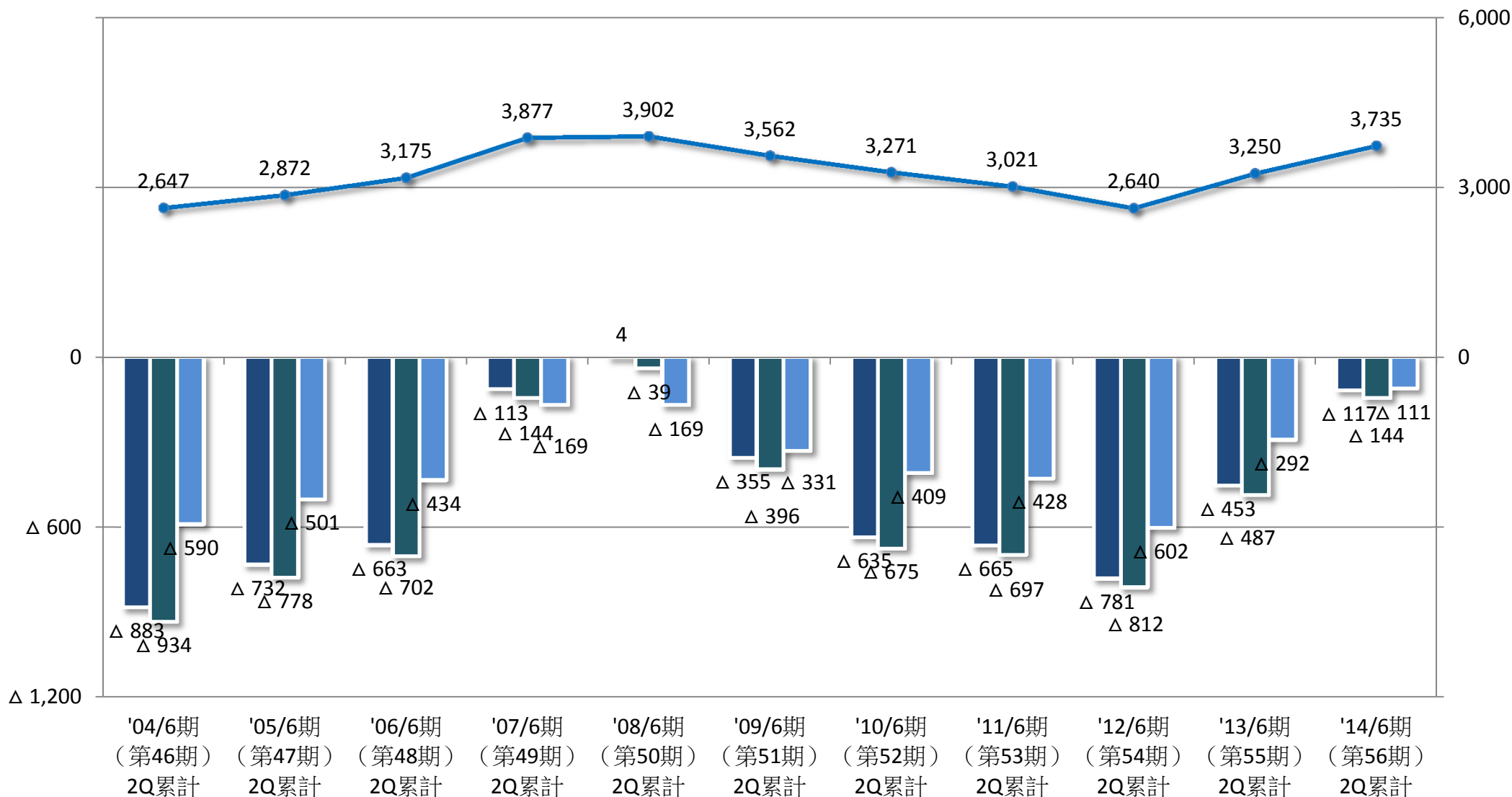
(単位:百万円)

	'13/06期2Q累計	'14/06期2Q累計	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	3,250	3,735	484 (14.9%)
営業利益(△損失)	△453	△117	335 (-)
経常利益(△損失)	△487	△144	343 (-)
四半期 純利益 (△損失)	△292	△111	180 (-)

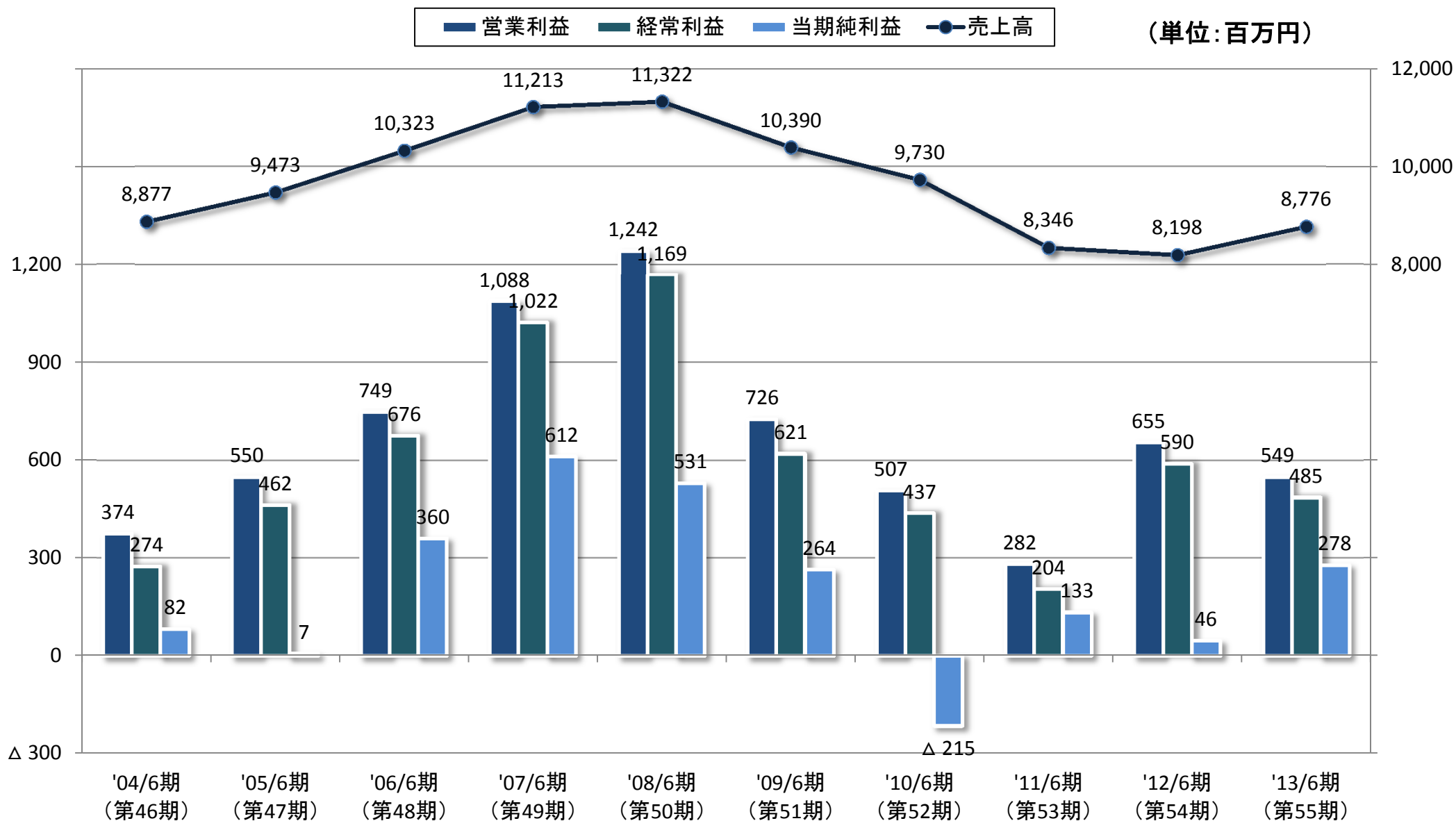
# 第2四半期累計期間の業績推移

■ 営業利益   
 ■ 経常利益   
 ■ 四半期純利益   
 ● 売上高

(単位:百万円)



# 通期の業績推移



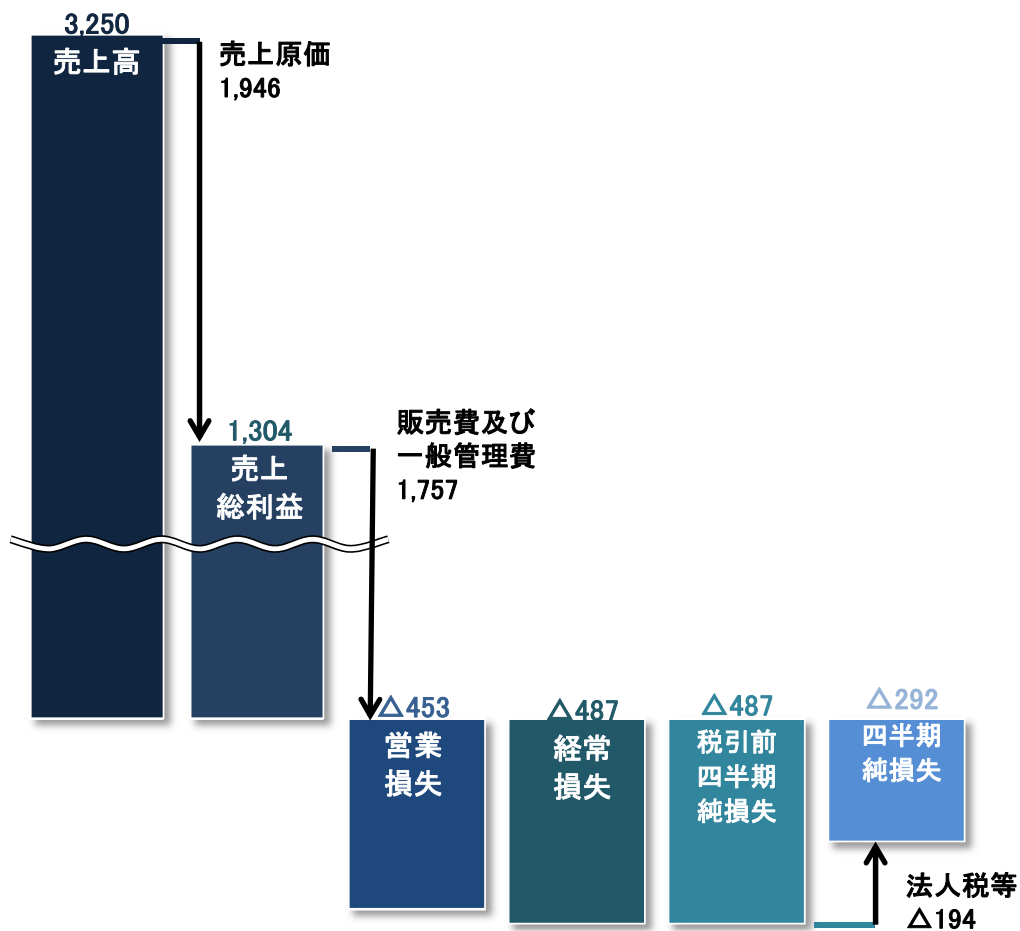
# '14/6 第2四半期 損益計算書ハイライト

(単位:百万円)

	'13/6期(第55期) 2Q累計	'14/6期(第56期) 2Q累計	対前年同期増減額
売上高	3,250	3,735	484
売上原価	1,946	2,115	169
売上総利益 (売上総利益率)	1,304 (40.1%)	1,619 (43.4%)	315
販売費及び一般管理費	1,757	1,736	△20
営業利益(△損失) (営業利益率)	△453 (△13.9%)	△117 (△3.1%)	335
営業外損益	△34	△27	7
経常利益(△損失) (経常利益率)	△487 (△15.0%)	△144 (△3.9%)	343
特別損益	△0	△11	△11
税引前四半期純利益(△損失)	△487	△156	331
法人税等	△194	△44	150
四半期純利益(△損失) (四半期純利益率)	△292 (△9.0%)	△111 (△3.0%)	180

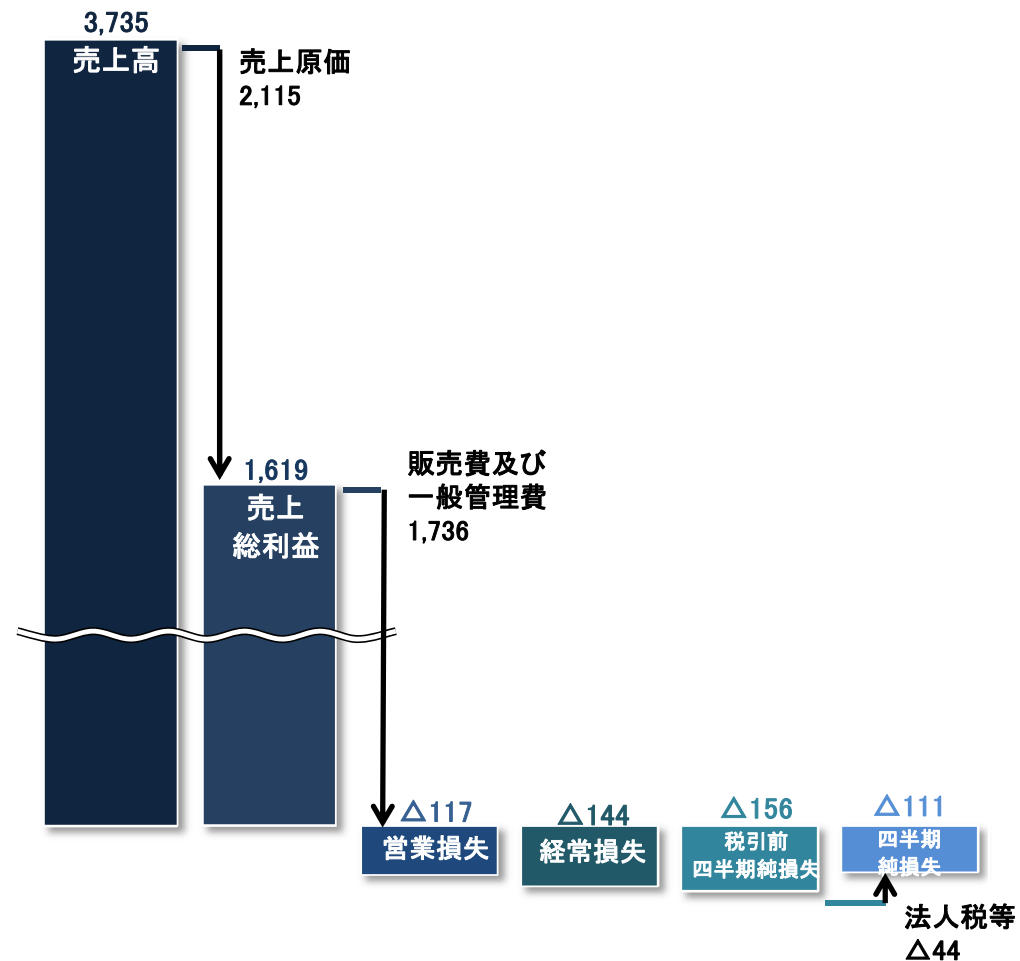
# ‘14/6 第2四半期 損益の状況

2013年6月期(第55期)2Q累計



2014年6月期(第56期)2Q累計

(単位:百万円)





# '14/6 第2四半期 貸借対照表ハイライト

(単位:百万円)

		'13/6期 (第55期) 2Q	'14/6期 (第56期) 2Q	増減額
<b>流動資産合計</b>		3,155	3,738	583
	現金・預金	458	618	159
	受取手形及び売掛金	1,107	1,441	334
	仕掛品	769	922	153
<b>固定資産合計</b>		7,028	6,978	△49
	有形固定資産	5,603	5,539	△63
	無形固定資産	378	369	△9
<b>資産合計</b>		10,183	10,717	534

		'13/6期 (第55期) 2Q	'14/6期 (第56期) 2Q	増減額
<b>負債合計</b>		6,907	7,227	319
<b>流動負債</b>		4,601	5,310	709
	短期借入金 <sup>※</sup>	3,145	3,325	180
	未払費用	116	126	10
<b>固定負債</b>		2,306	1,916	△389
	長期借入金	943	484	△459
<b>純資産合計</b>		3,275	3,490	214
<b>負債・純資産合計</b>		10,183	10,717	534

※ 「1年内返済予定の長期借入金」は短期借入金に含めて計算しております。

# '14/6 第2四半期 財政の状況

## 2013年6月期(第55期)2QB/S

総資産: 10,183  
負債+純資産: 10,183

<b>流動資産</b> 3,155	<b>流動負債</b> 4,601
現・預金 458	短期借入金 2,280
売上債権 1,107	一年以内長期借入金 865
仕掛品 769	未払費用 116
<b>固定資産</b> 7,028	<b>固定負債</b> 2,306
有形固定資産 5,603	長期借入金 943
無形固定資産 378	<b>純資産</b> 3,275
	利益剰余金 1,594

有利子負債  
4,137

## 2014年6月期(第56期)2QB/S

総資産: 10,717 (単位: 百万円)  
負債+純資産: 10,717

<b>流動資産</b> 3,738	<b>流動負債</b> 5,310
現・預金 618	短期借入金 2,990
売上債権 1,441	一年以内長期借入金 335
仕掛品 922	未払費用 126
<b>固定資産</b> 6,978	<b>固定負債</b> 1,916
有形固定資産 5,539	長期借入金 484
無形固定資産 369	<b>純資産</b> 3,490
	利益剰余金 1,938

有利子負債  
3,840

## 資産の変化(534百万円)

### ● 流動資産の増加(583百万円)

現金及び預金の増加(159百万円)  
売上債権の増加(334百万円)  
仕掛品の増加(153百万円)

### ● 固定資産の減少(△49百万円)

有形固定資産の減少(△63百万円)  
無形固定資産の減少(△9百万円)

## 負債の変化(319百万円)

### ● 流動負債の増加(709百万円)

短期借入金の増加(710百万円)  
一年以内長期借入金の減少(△530百万円)  
未払費用の増加(10百万円)

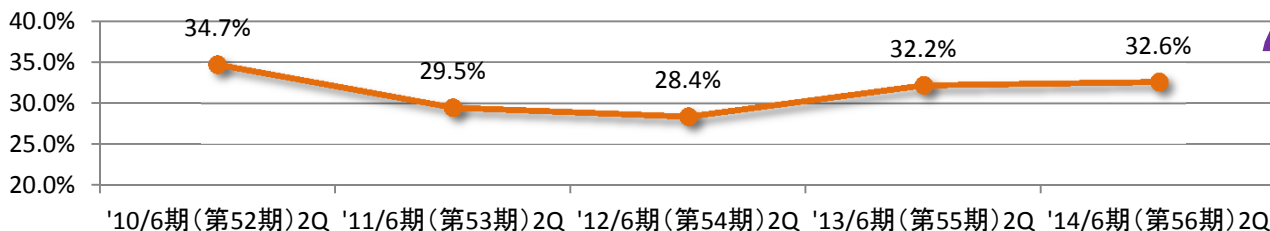
### ● 固定負債の減少(△389百万円)

長期借入金の減少(△459百万円)

## 純資産の変化(214百万円)

### ● 利益剰余金の増加(343百万円)

自己資本比率



# '14/6 第2四半期 キャッシュ・フロー計算書ハイライト

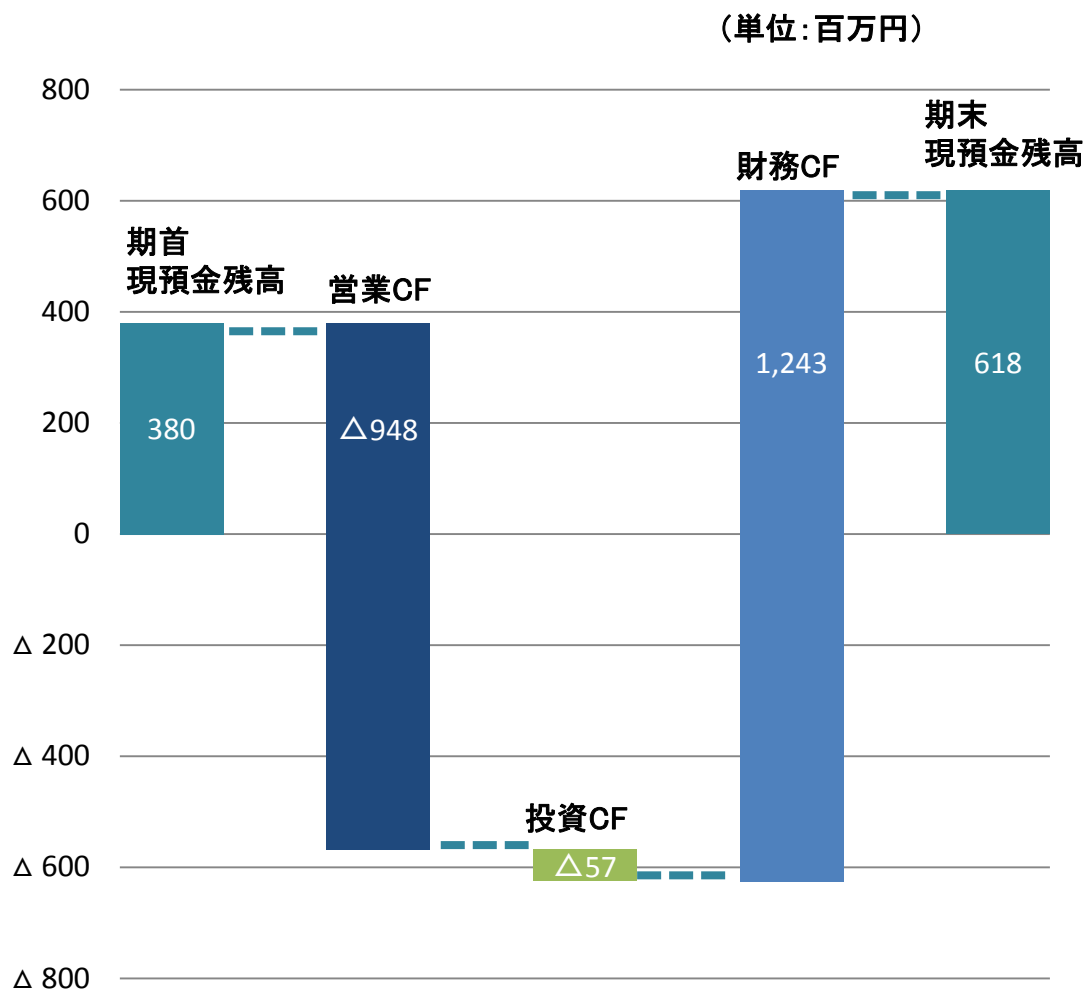
(単位:百万円)

	'13/6期 (第55期) 2Q	'14/6期 (第56期) 2Q
期首現預金残高	551	380
営業活動CF	△450	△948
投資活動CF	△295	△57
フリー・キャッシュ・フロー	△746	△1,005
財務活動CF	654	1,243
期末現預金残高	458	618

# ‘14/6 第2四半期 キャッシュ・フローの状況

## 2014年6月期(第56期)2Q キャッシュ・フロー

(平成25年7月1日～平成25年12月31日)



### 営業キャッシュ・フロー主要内訳

● 税引前四半期純損失	Δ156百万円
● 賞与引当金の増加	193百万円
● 売上債権の減少	135百万円
● たな卸資産の増加	Δ492百万円
● 未払費用の減少	Δ304百万円
● 法人税等の支払額	Δ345百万円

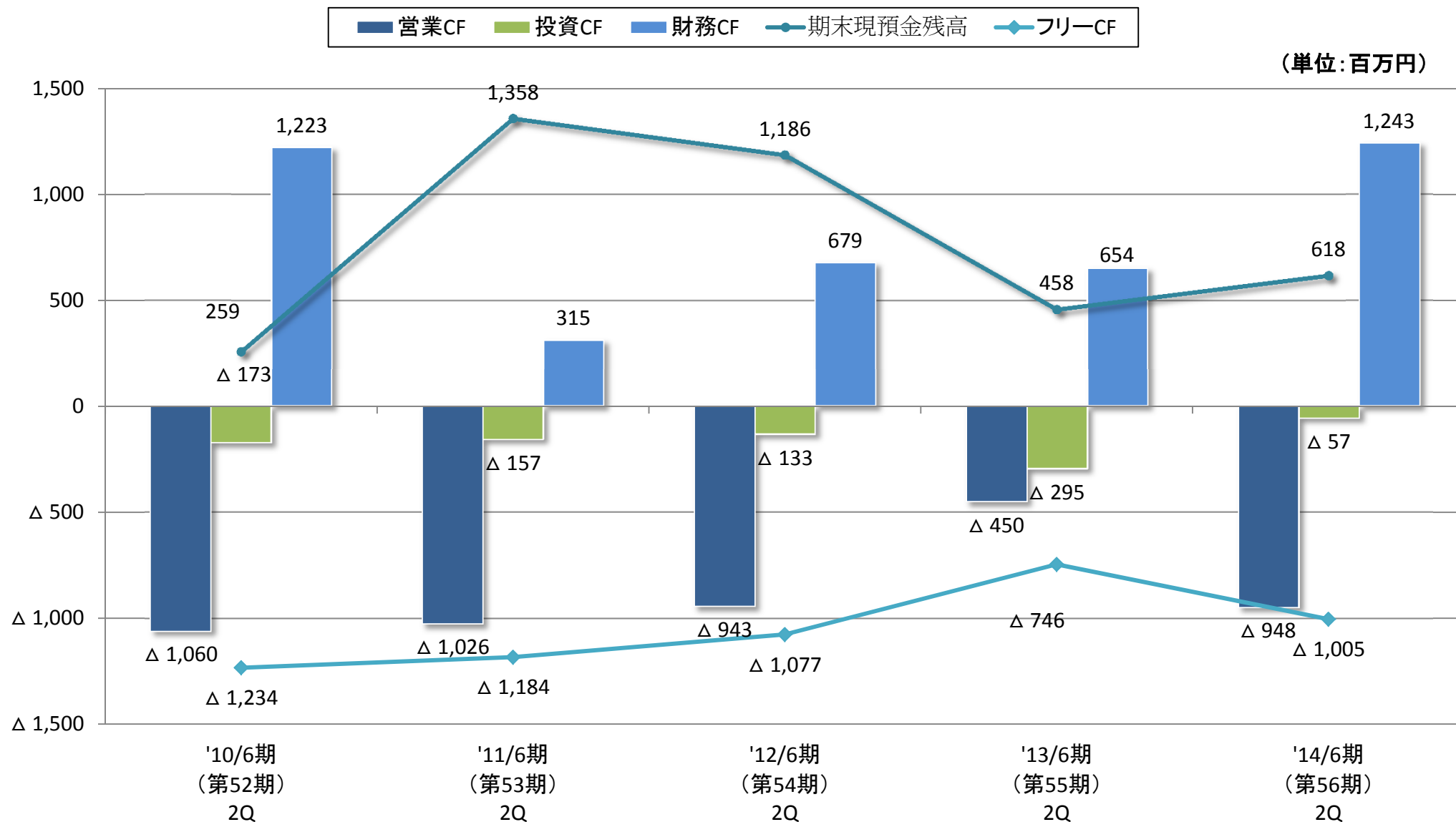
### 投資キャッシュ・フロー主要内訳

● 有形固定資産の取得	Δ8百万円
● 無形固定資産の取得	Δ30百万円

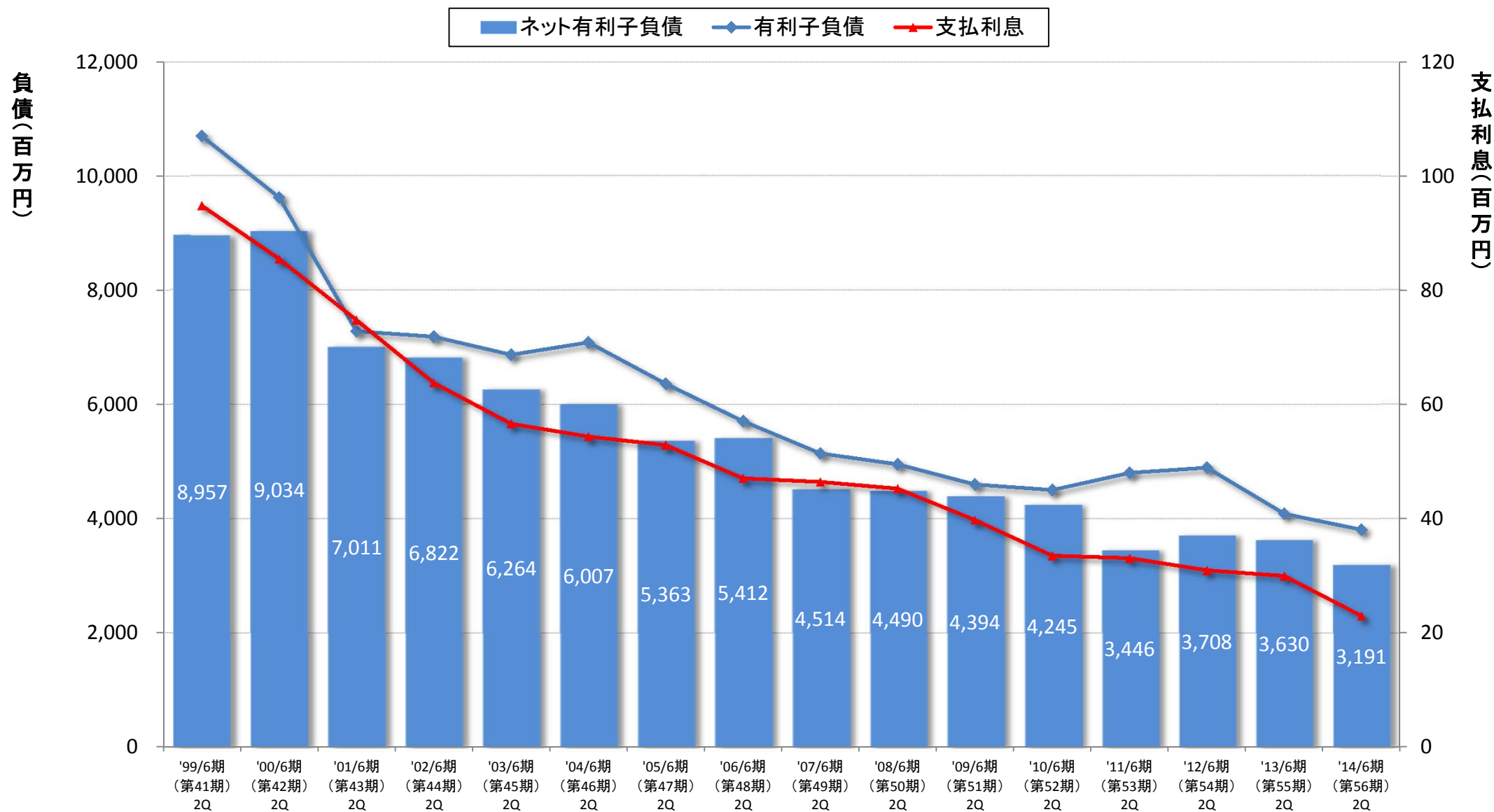
### 財務キャッシュ・フロー主要内訳

● 短期借入金の純増	1,700百万円
------------	----------

# 過去5年間の第2四半期キャッシュ・フローの状況



# ネット有利子負債と支払利息の推移

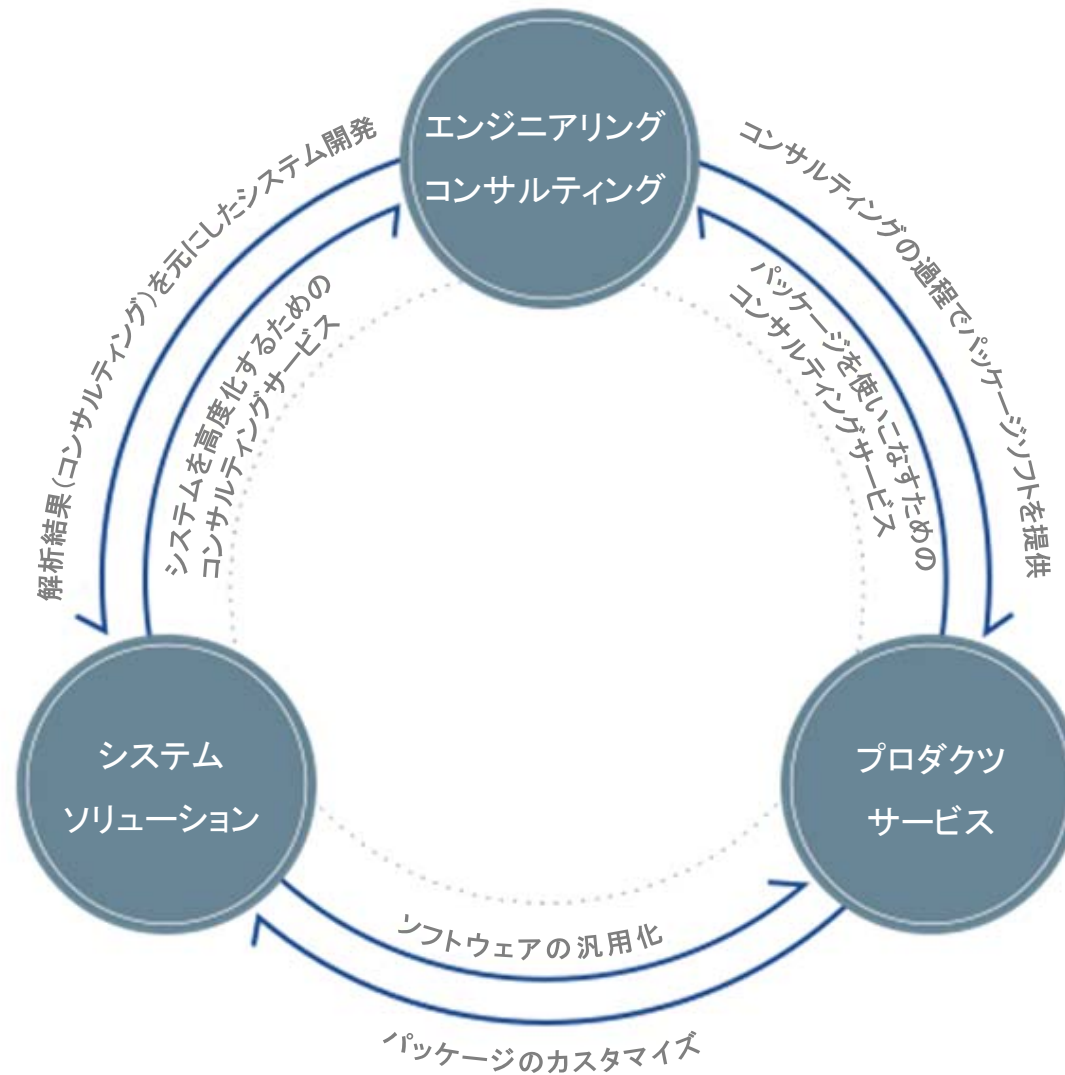


# 2

## セグメント別の状況



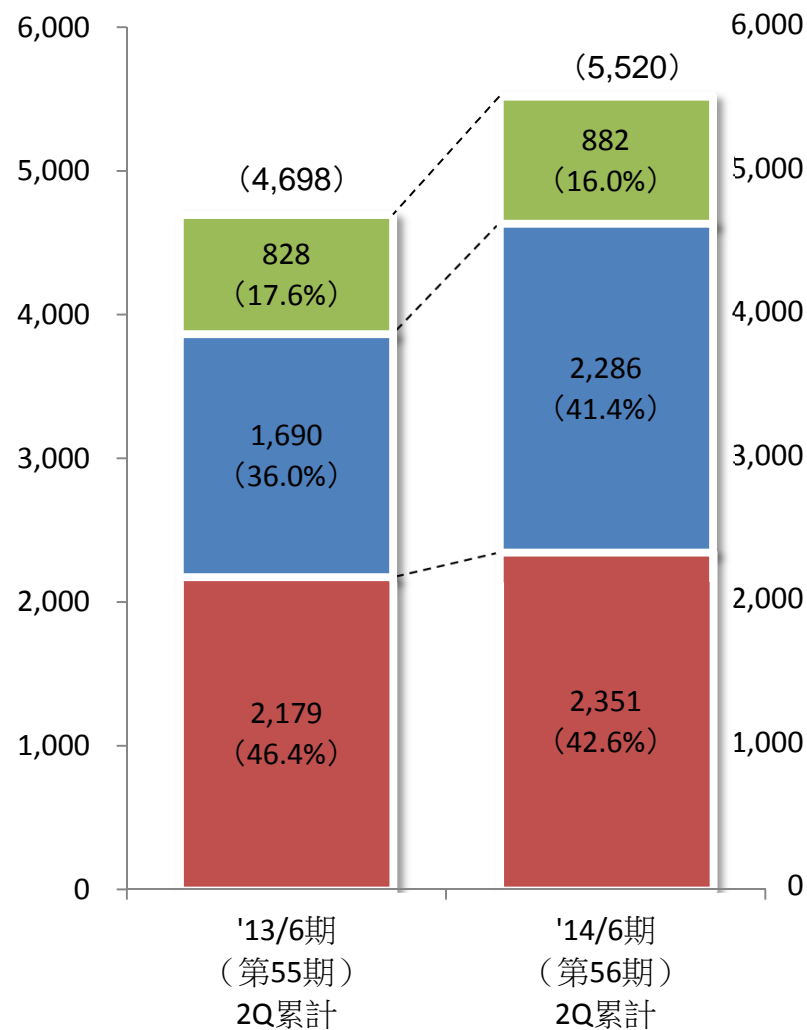
# セグメント間のシナジー



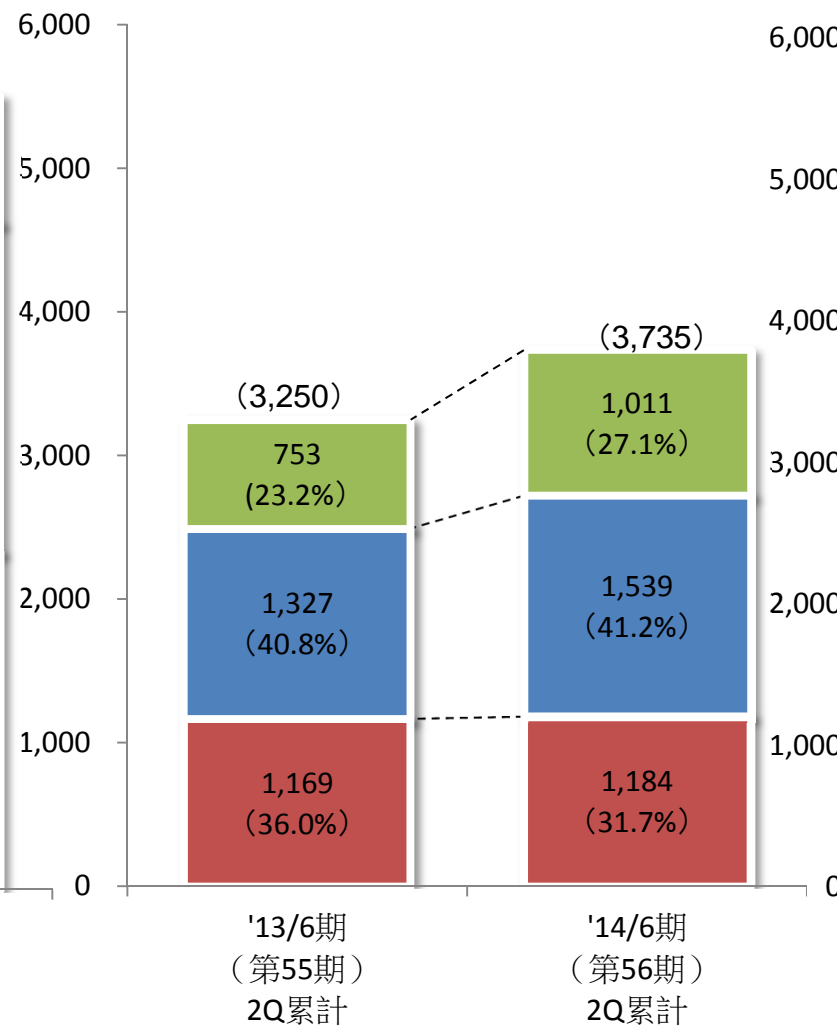


# セグメント別受注高・売上高・受注残高の状況

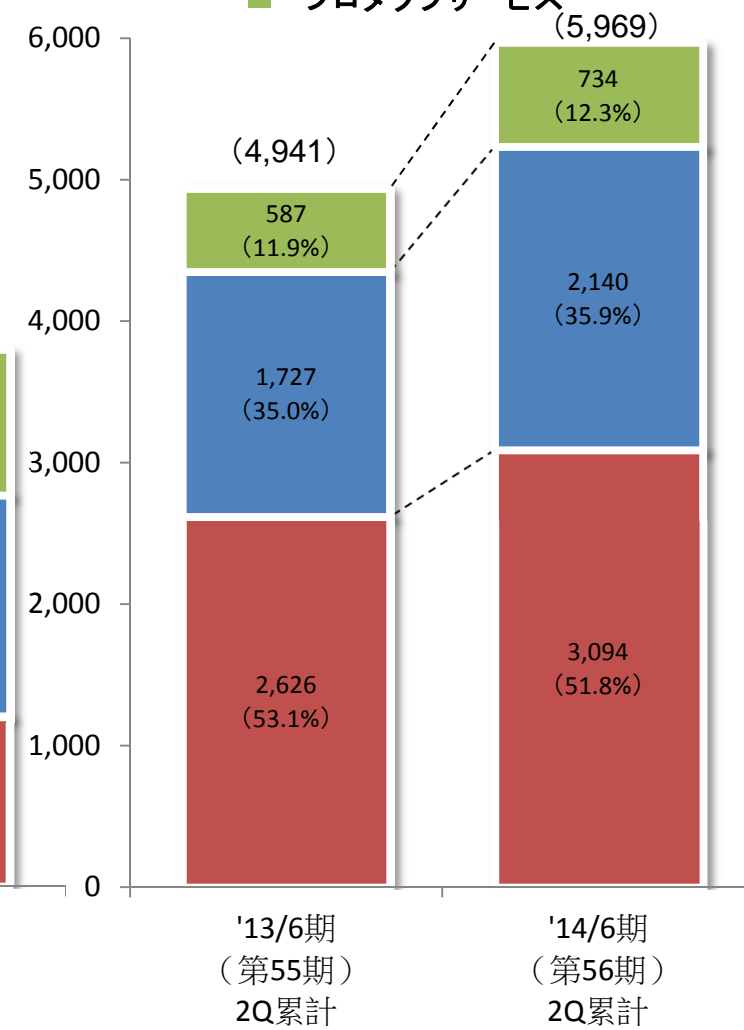
- エンジニアリングコンサルティング
- システムソリューション
- プロダクツサービス



受注高(単位:百万円)



売上高(単位:百万円)

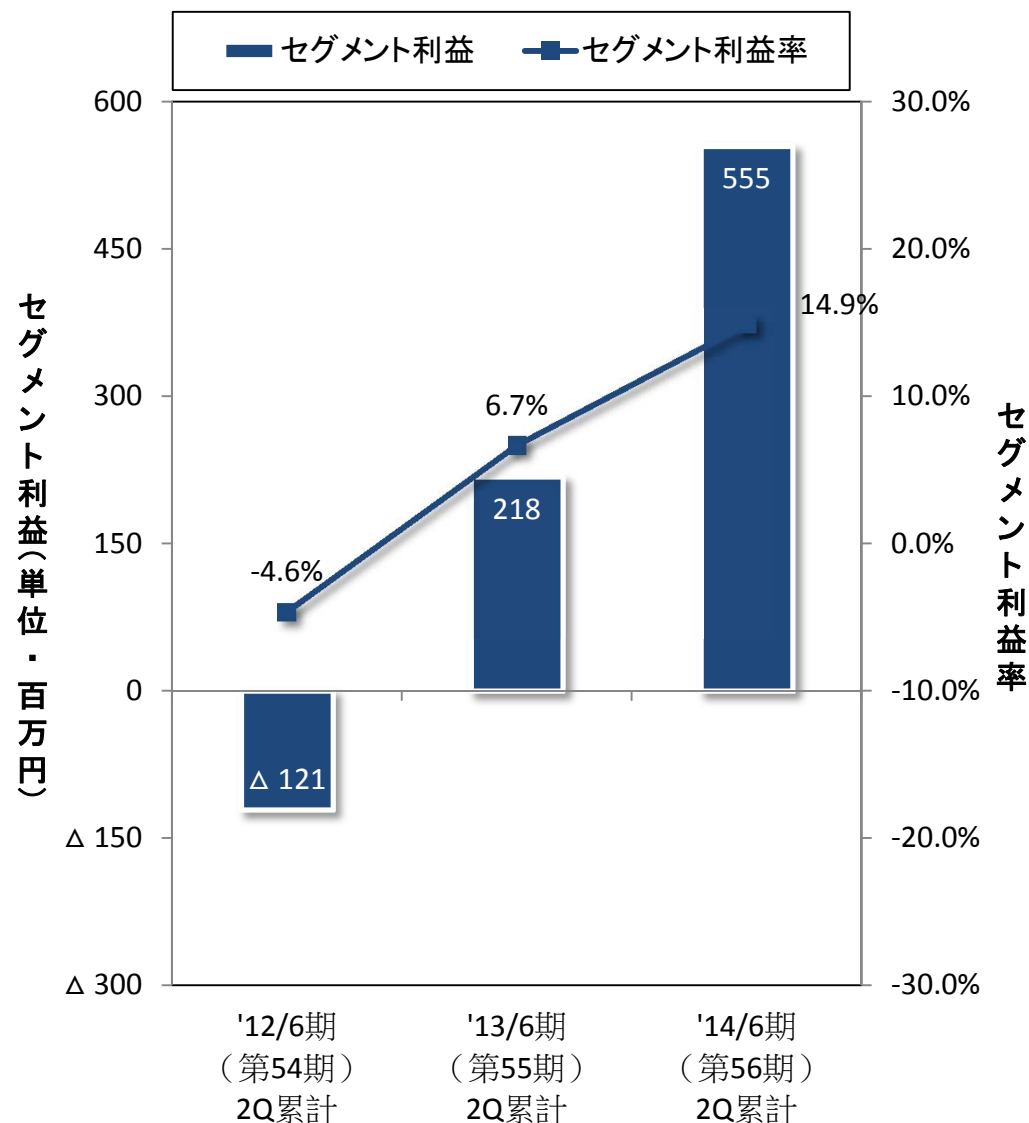


受注残高(単位:百万円)

# 3 セグメント合計

(単位:百万円)

	'12/6期 (第54期) 2Q累計	'13/6期 (第55期) 2Q累計	'14/6期 (第56期) 2Q累計	対前年同期 増減率
受注高	4,056	4,698	5,520	17.5%
売上高	2,640	3,250	3,735	14.9%
セグメント 利益 (利益率)	△121 (△4.6%)	218 (6.7%)	555 (14.9%)	153.9%
受注残高	4,443	4,941	5,969	20.8%



# ①エンジニアリングコンサルティング

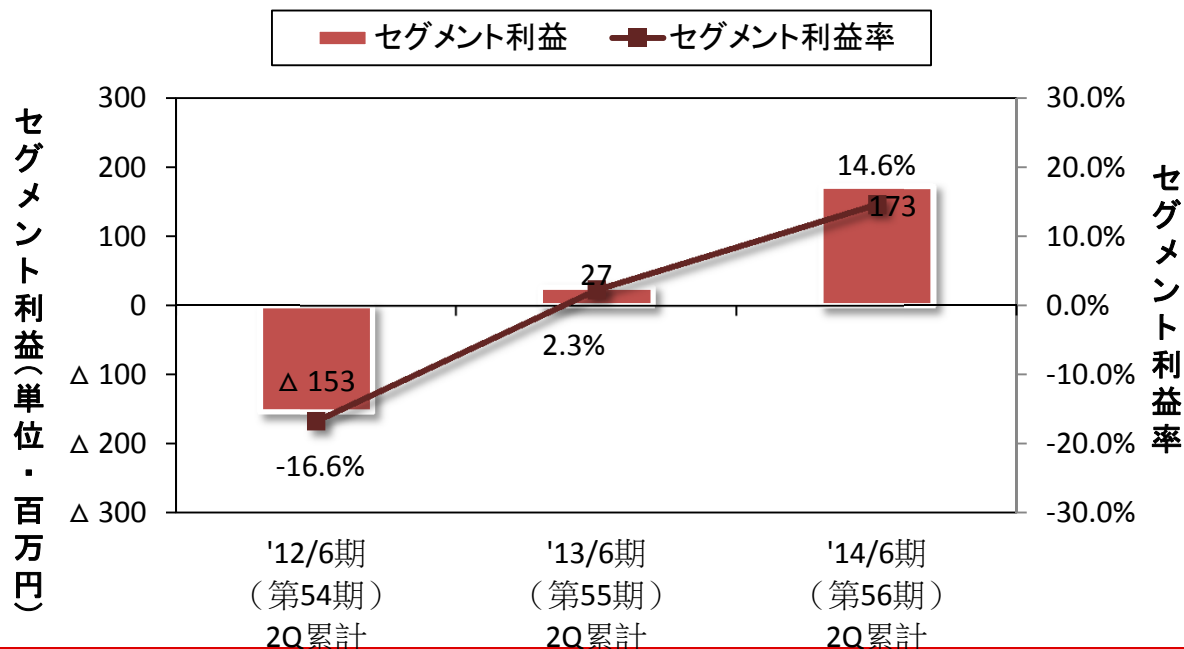
(単位:百万円)

	'12/6期 (第54期) 2Q累計	'13/6期 (第55期) 2Q累計	'14/6期 (第56期) 2Q累計	対前年同期 増減率
受注高	1,891	2,179	2,351	7.9%
売上高	922	1,169	1,184	1.3%
セグメント利益 (利益率)	△153 (△16.6%)	27 (2.3%)	173 (14.6%)	536.4%
受注残高	2,468	2,626	3,094	17.8%

- ◆ 防災・耐震・環境評価解析コンサル
- ◆ 建築物の構造設計
- ◆ ソフトウェア開発の要求定義・基本検討
- ◆ 製造・物流系シミュレーション
- ◆ マーケティングコンサル、リスク分析
- ◆ マルチエージェントシミュレーション

## 業績分析

- 建築構造計算支援のためのコンサルティング業務、安心・安全な社会構築を支援するコンサルティング業務、防災関連のコンサルティング業務が好調



## ② システムソリューション

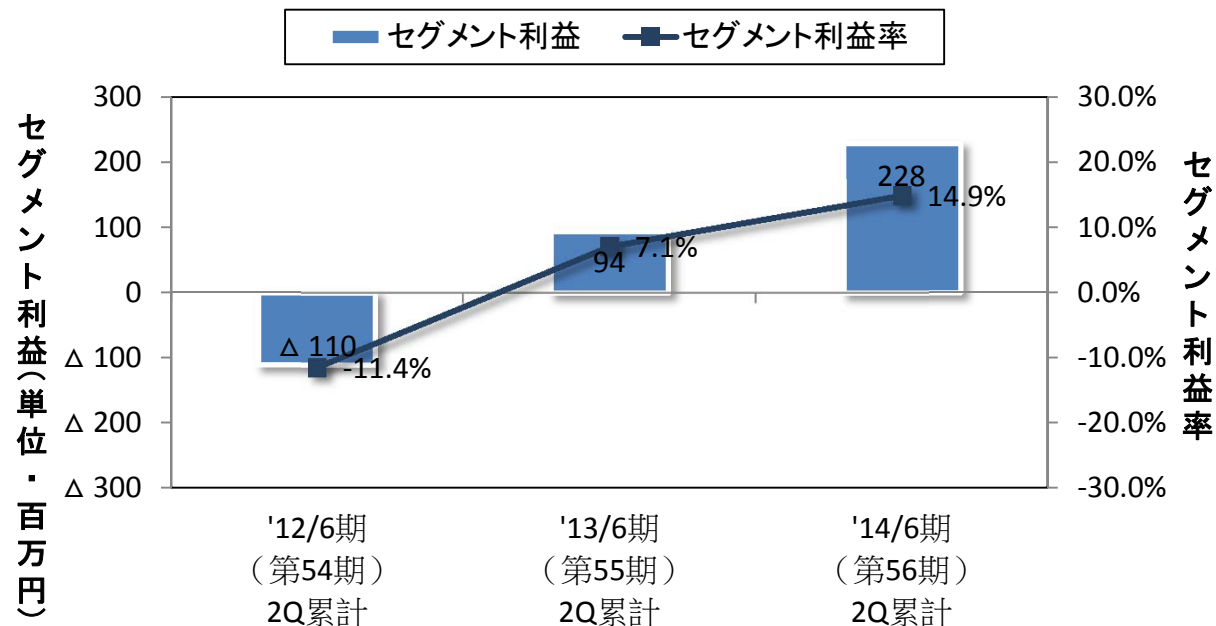
(単位:百万円)

	'12/6期 (第54期) 2Q累計	'13/6期 (第55期) 2Q累計	'14/6期 (第56期) 2Q累計	対前年同期 増減率
受注高	1,368	1,690	2,286	35.3%
売上高	971	1,327	1,539	16.0%
セグメント利益 (利益率)	△110 (△11.4%)	94 (7.1%)	228 (14.9%)	142.5%
受注残高	1,633	1,727	2,140	23.9%

- ◆ 構造設計支援システム
- ◆ 移动通信・モバイル・ネットワーク通信システム
- ◆ バス運行関連ソリューションシステム
- ◆ 製造業向け営業・設計支援システム
- ◆ 最適化・物流システム

### 業績分析

- 大手住宅メーカー向けおよび住宅設備メーカー向けのシステム開発業務が好調



### ③ プロダクツサービス

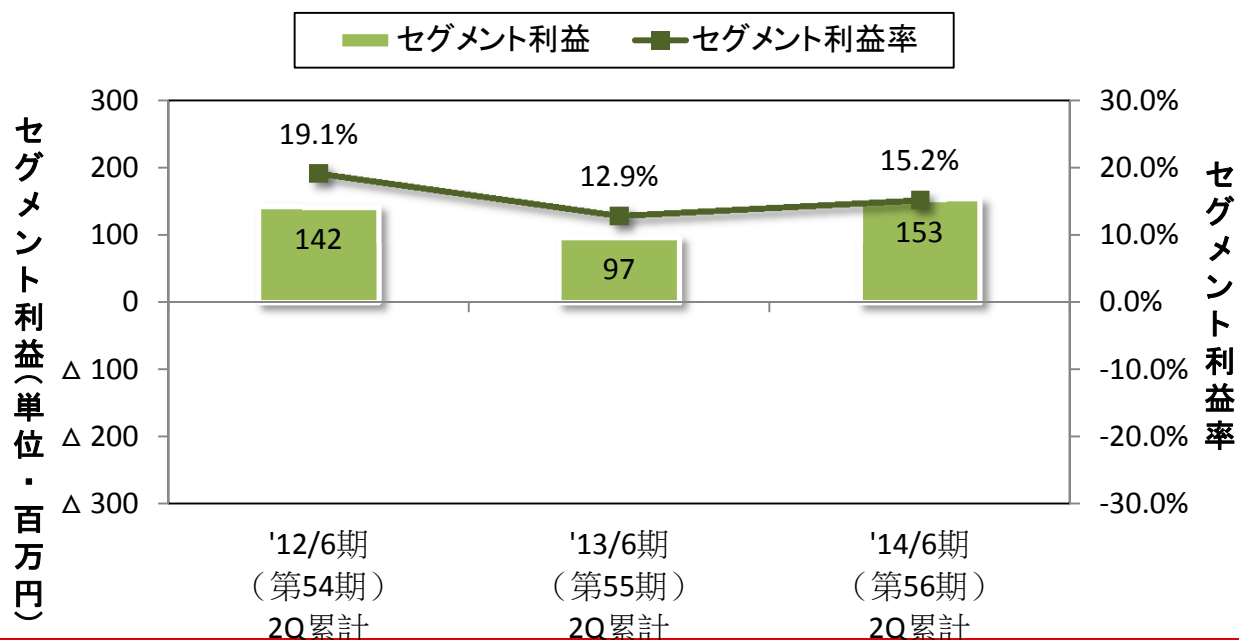
(単位:百万円)

	'12/6期 (第54期) 2Q累計	'13/6期 (第55期) 2Q累計	'14/6期 (第56期) 2Q累計	対前年同期 増減率
受注高	795	828	882	6.4%
売上高	746	753	1,011	34.2%
セグメント利益 (利益率)	142 (19.1%)	97 (12.9%)	153 (15.2%)	58.1%
受注残高	341	587	734	25.0%

- ◆ 建設系構造解析・耐震検討ソフト
- ◆ ネットワークシミュレーションソフト
- ◆ 電波伝搬・電磁波解析ソフト
- ◆ 製造系設計者向けCAEソフト
- ◆ マーケティング・意思決定支援ソフト
- ◆ 統計解析ソフト、画像認識ソフト
- ◆ コンサルティング
- ◆ 教育トレーニング

#### 業績分析

- 設計者向けCAEソフト、製造業のリスクマネジメントソリューションおよびネットワーク通信シミュレータの販売が好調



# 3

2014年6月期の見通し



# 2014年6月期の見通し

- ・経済環境 ⇒ 回復の兆しが見られるも、依然として楽観視できない状況
- ・当社の対面業界 ⇒ 増税による需要の反動など、先行き不透明な状況は否めない



## 品質管理の徹底による強固な収益構造の構築

- 全事業における最終成果品の品質確保
- 受注段階での見積精度の向上および選別受注



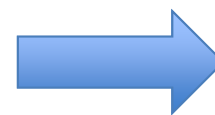
## 独自技術の提供により高収益を確保できるエンジニアリングコンサルティングビジネスの拡大

- エンジニアリングの原点への回帰
- 付加価値の高いビジネスへのシフト



## 経営資源の拡充

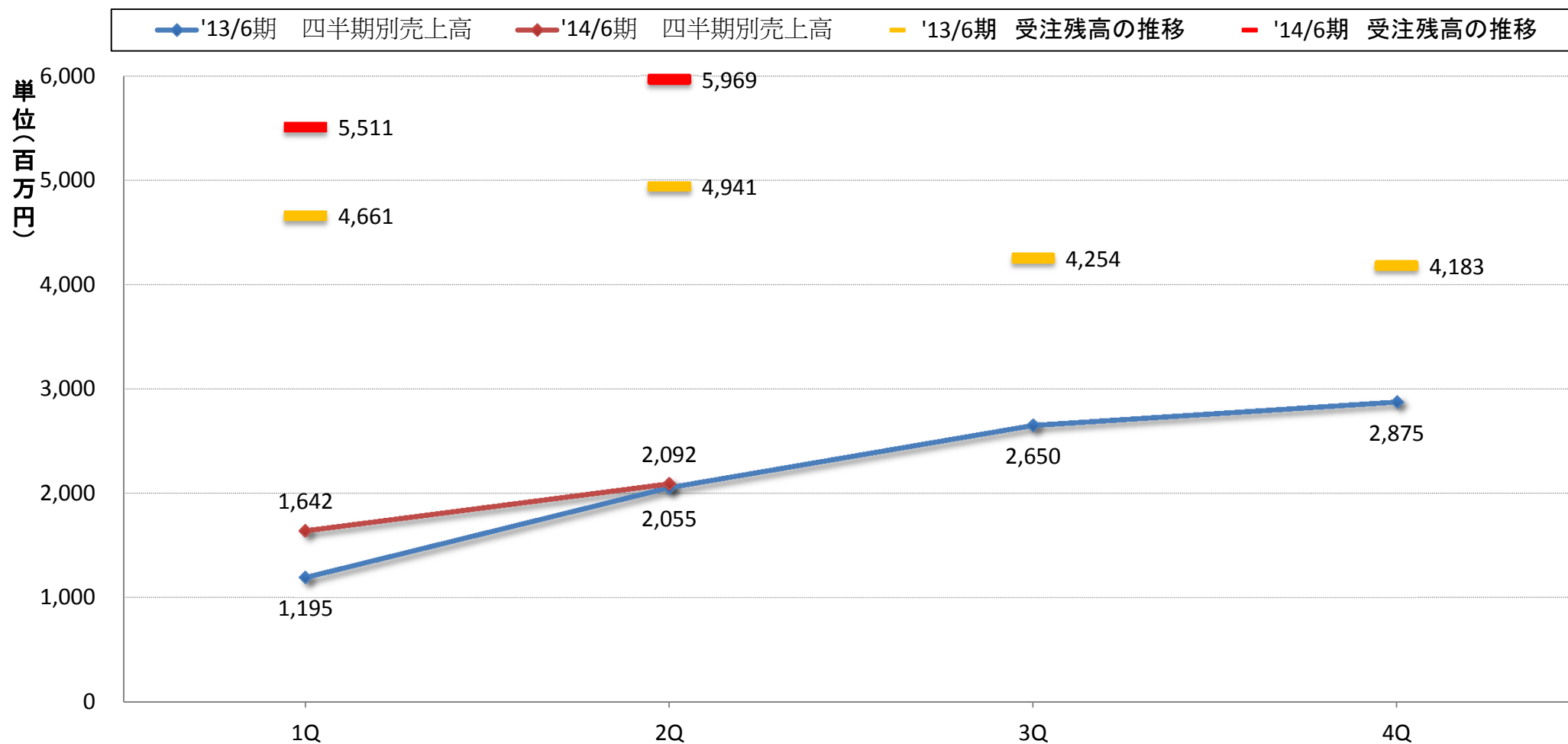
- 海外を含めた多種多様な企業との対等なアライアンスの推進
- プロフェッショナルの採用と育成



高い顧客満足度  
&  
付加価値の向上

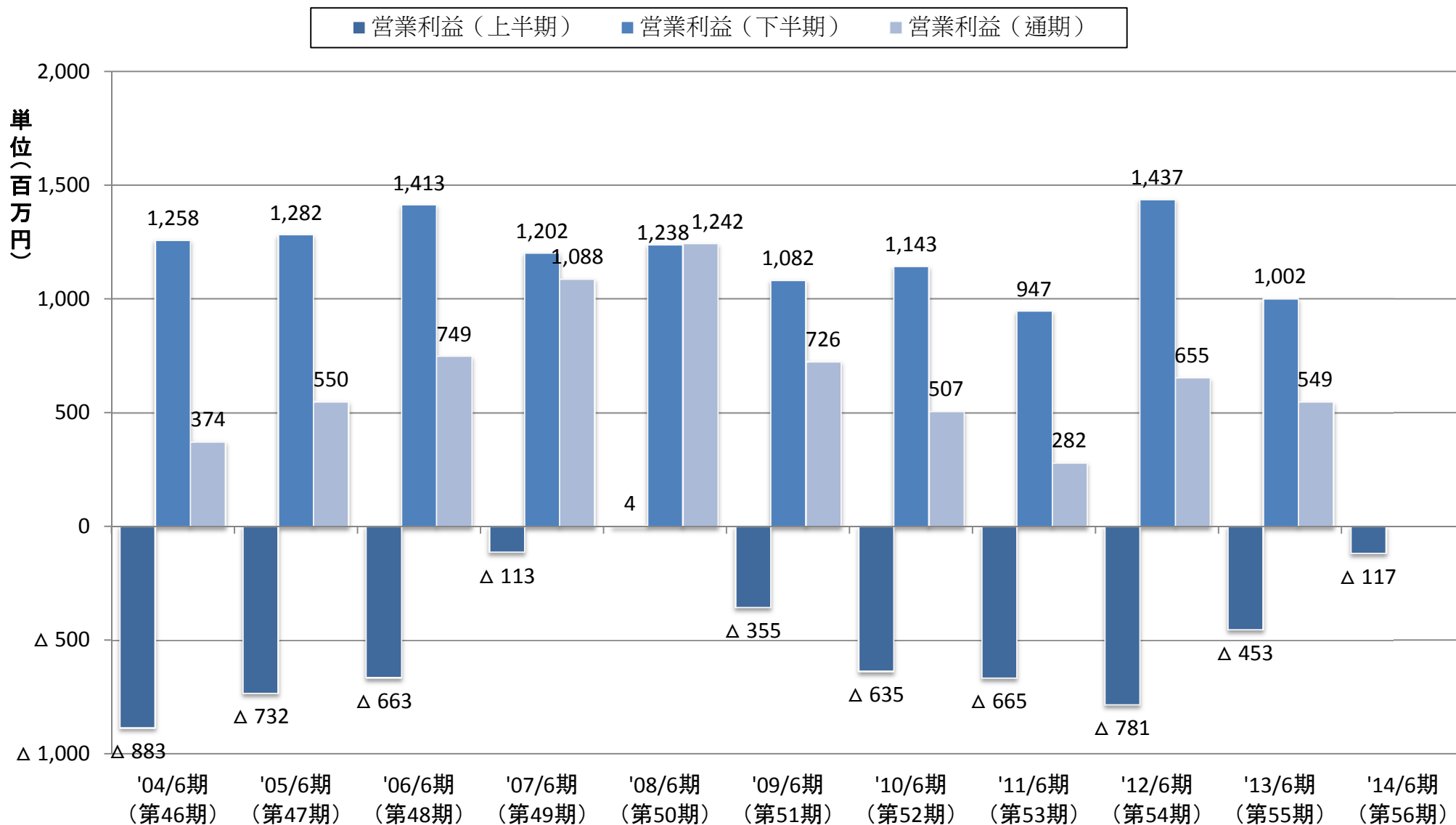
# 売上高と受注残高の状況

## 四半期別売上高と受注残高の推移





# 上半期と下半期の営業利益推移

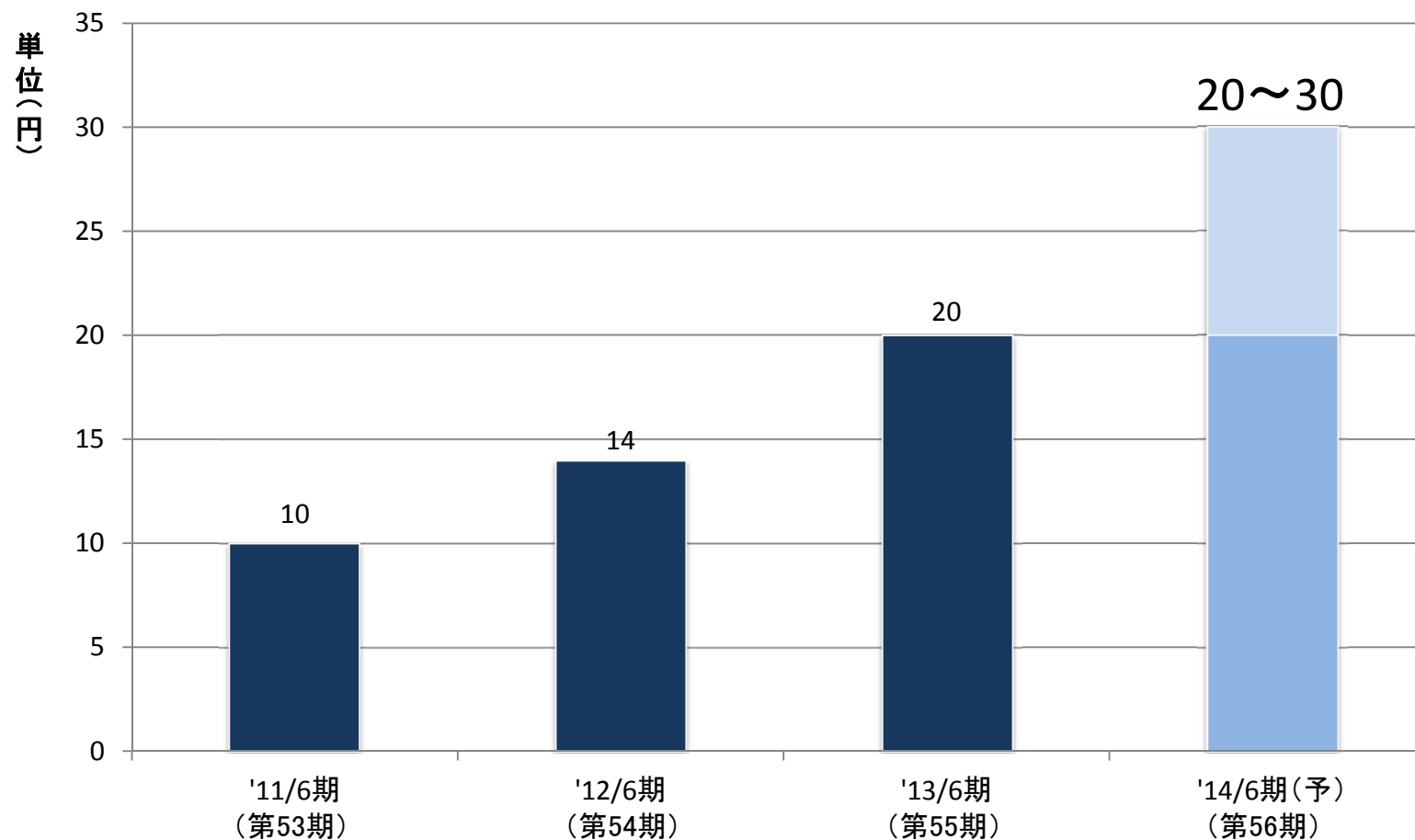


## 利益配分に関する基本方針

- 当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題として認識
- 経営基盤の強化及び将来の事業展開に備えての内部留保を勘案しつつ、継続的かつ安定的に配当を行うことを基本方針とする。
- 毎期の配当については、上記基本方針のもと、配当可能額の水準を勘案し決定する。

# 一株当たり配当金予想 (2014年6月期)

## 一株当たり配当金予想



※当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題として認識しており、経営基盤の強化及び将来の事業展開に備えての内部留保を勘案しつつ、継続的かつ安定的に配当を行うことを基本方針としております。

# 4

中長期的視野に立った経営方針

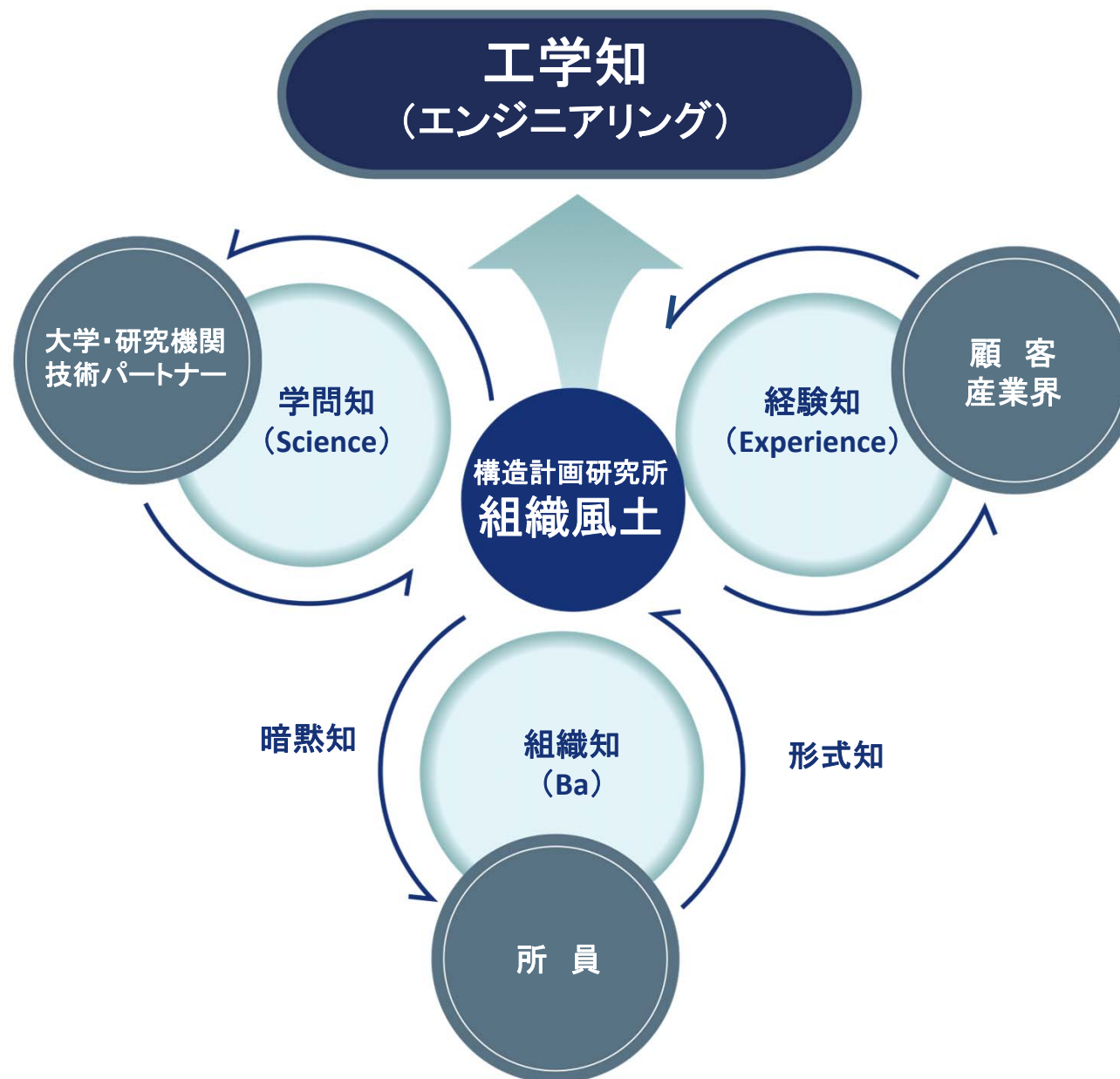


## 当社が目指すありたい姿（ミッション）

# Professional Design & Engineering Firm

学問知と経験知による知の循環から  
生み出される、工学的手法に立脚した  
ユニークな解決策（ソリューション）を  
提供することによって高付加価値を  
実現する組織

# 当社の特徴（ビジョン）



## 3つの行動指針

(Professional Design & Engineering Firmを実現するために)

# 限られたリソースの中で優先順位を付けたマネジメント

- 1** 閉じこもらない「*Collaboration*」  
社内、社外のパートナーとの提携！
- 2** PDCAを糧にする「*Feedback*」  
失敗経験も組織の力に活かす！
- 3** 情報技術の進化に負けない「*Speed*」  
組織メンバーがスピードのある行動を！

# 付加価値を向上させるための5つの「I」（姿勢）

## I ntelligent

知を対価とするビジネスと社会貢献

## I ndependent

何にもとらわれない自由な発想のできる場の設定

## I nterdisciplinary

多様な学問分野の組み合わせ、融合

## I nnovative

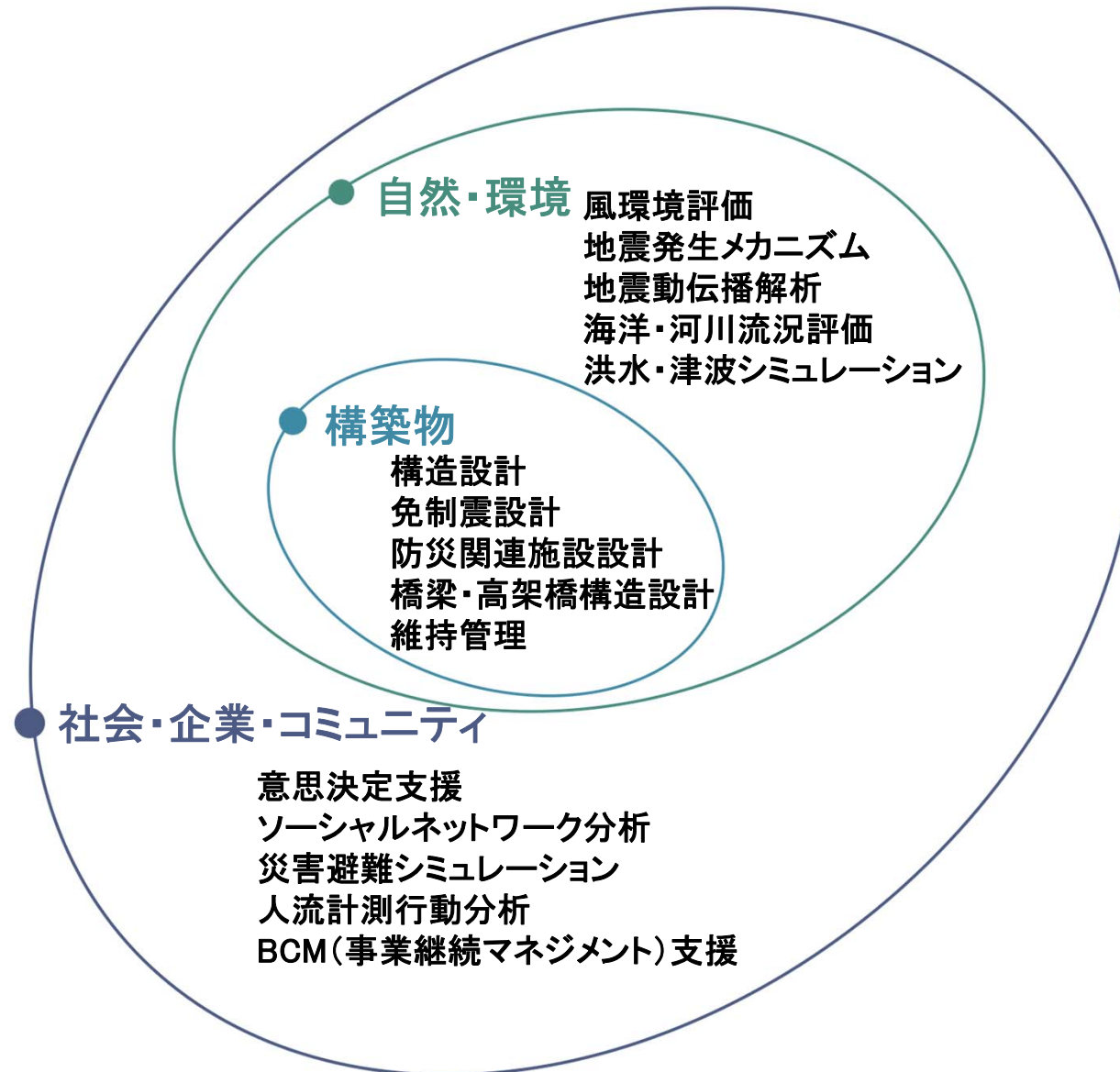
常に新しい事に対して挑戦する気概 風土 DNA

## I nternational

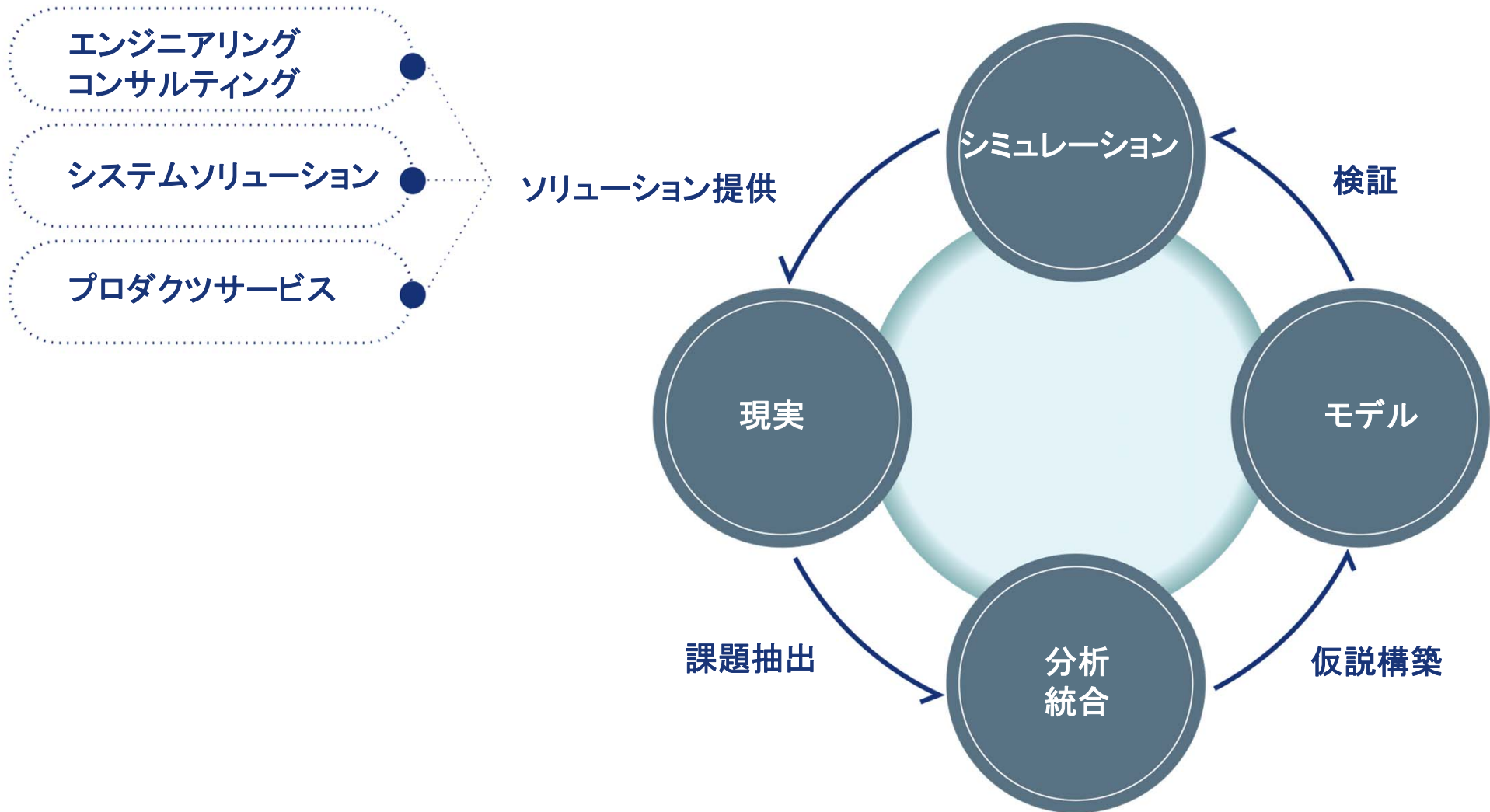
異なる知を持つ海外パートナーとの連携



# 事業領域の拡大



# 工学的アプローチ（モデリング&シミュレーション）



# 付加価値成長のシナリオ

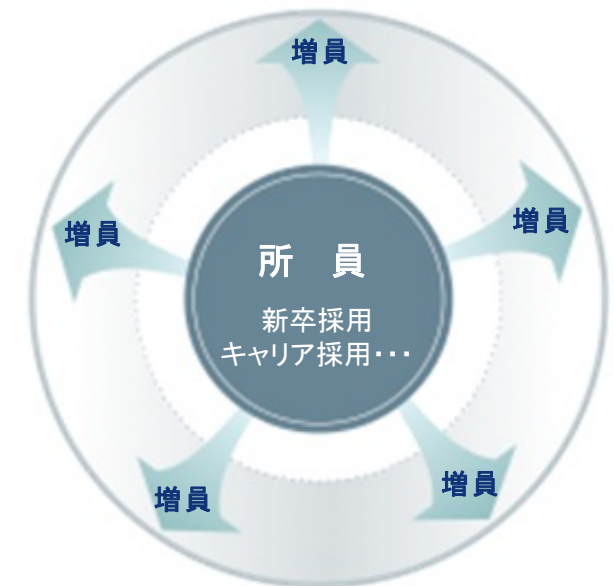
## 1. 「事業開拓投資」による付加価値成長



## 2. 「所員の成長」による付加価値成長



## 3. 「所員(仲間)の増加」による付加価値成長



※当社では営業利益に人件費を加えた額を付加価値と定義し、各ステークホルダーへの分配可能原資を表しています。

# 当社をめぐるステークホルダーへの対応



# 事業開拓による付加価値成長①

## プロメテック・ソフトウェア株式会社

東京大学工学系研究科 越塚誠一教授考案の  
流体シミュレーション理論「粒子法」に基づく  
ソリューションを提供

### 流体解析ソフトウェアParticleworks

- 世界初の粒子法(MPS法)を採用した初の商用流体解析ソフトウェア
- 従来手法(メッシュ法)では解けない難しい物理現象が解ける



## 2012年10月29日 当社と資本・業務提携

### 人事交流を含む広範な提携シナジーの創出へ

- 社外取締役2名の参画
- 新規顧客の獲得 製薬、化粧品メーカーなど
- 当社が従来より展開する防災関連ビジネスへの応用
- 当社が従来より提供するソフトウェアとの連携

# 事業開拓による付加価値成長②

独Vitracom社 画像センサーソフトウェアSiteView + KKE データ分析技術

小売店やショッピングセンターなどの訪問数をカウントするシステム「ピープルカウンター」  
POSデータを統合することで買上率による店舗環境の最適化を支援

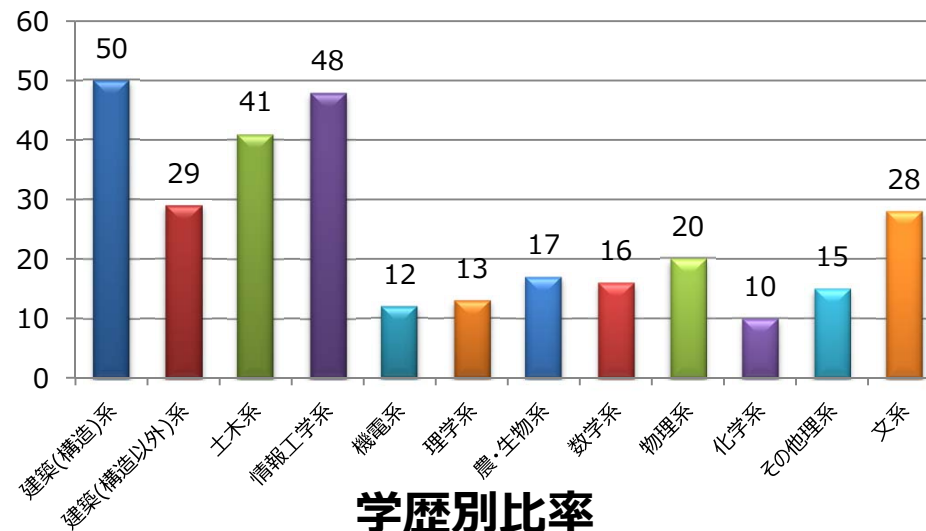
「ピープルカウンター」ウェブサイト  
[http://www4.kke.co.jp/p\\_counter/index.html](http://www4.kke.co.jp/p_counter/index.html)



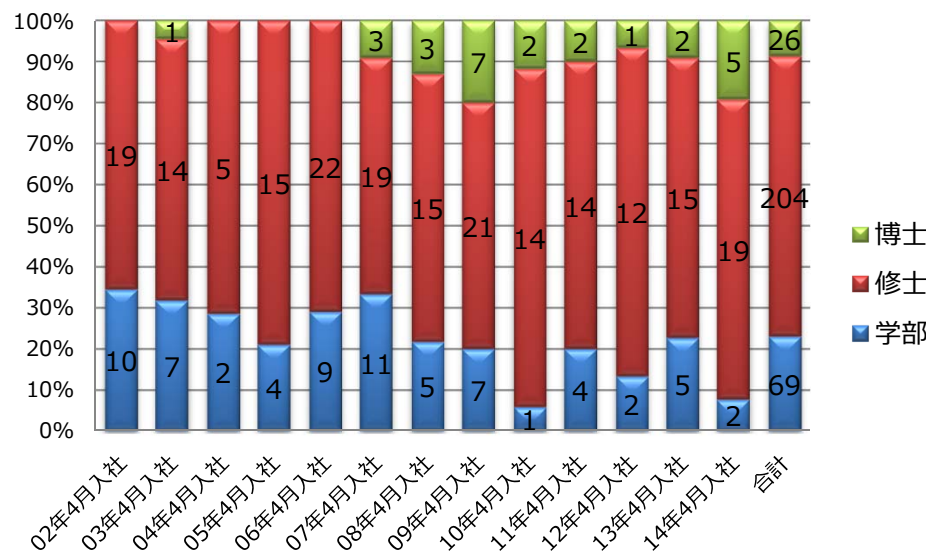
# 所員の増加による付加価値成長①

出身校上位20校('02/4月～'13/4月入社)	人数
東京工業大学	28
京都大学	20
東京大学	18
九州大学	18
早稲田大学	16
熊本大学	10
東京理科大学	10
筑波大学	9
慶應義塾大学	8
名古屋大学	6
東京農工大学	6
横浜国立大学	5
埼玉大学	5
中央大学	5
法政大学	5
日本大学	5
東北大学	4
北陸先端科学技術大学院大学	4
豊橋技術科学大学	4
佐賀大学	4

## 出身専攻系統

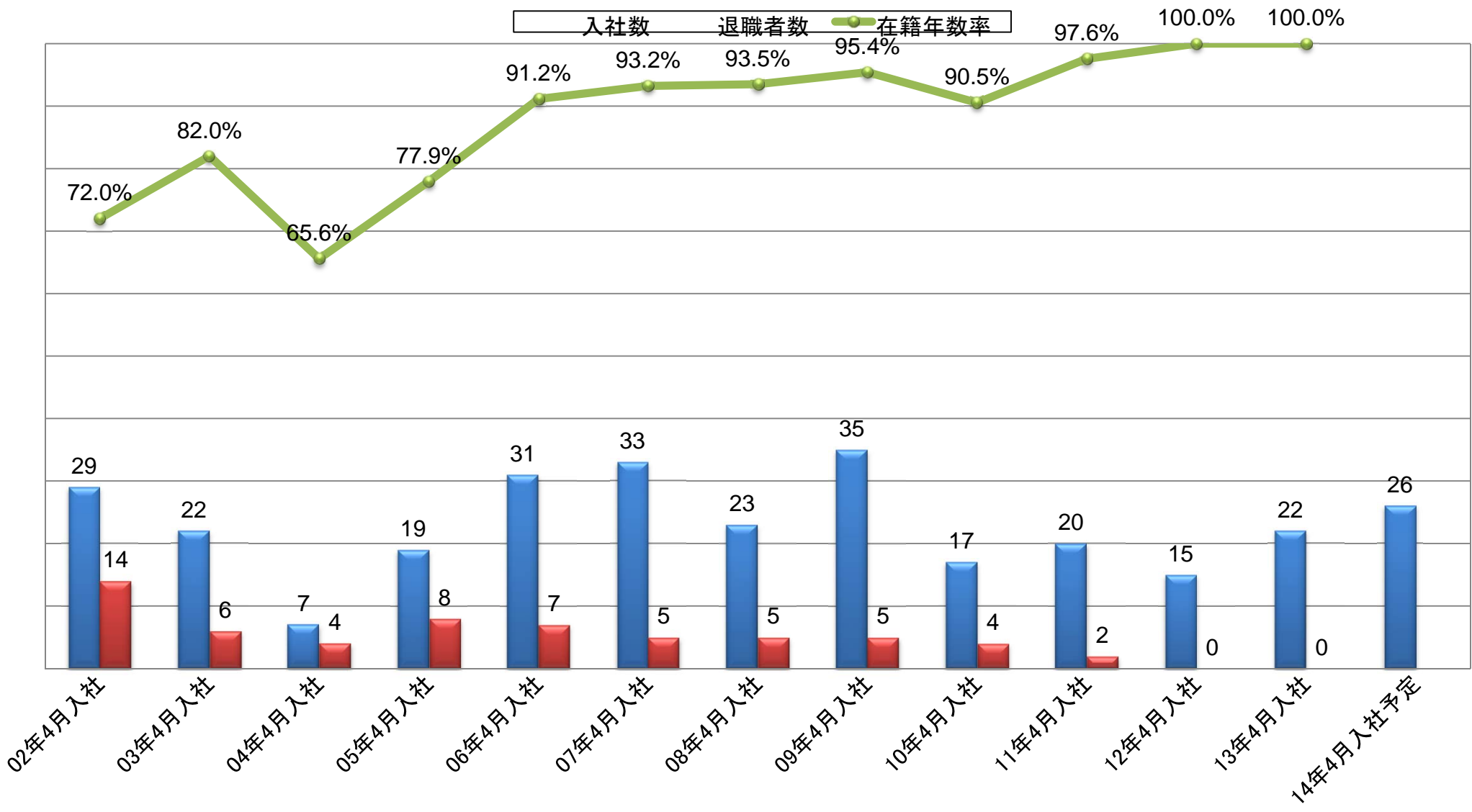


## 学歴別比率



# 所員の増加による付加価値成長②

## 新卒入社者在籍年数率





# 5

事業 TOPICS



より良い社会の実現と付加価値成長を目指して

## *Public*

技術コンサルティング企業として制度やルールの策定から参画

## *Local*

地域に特有の課題(災害、交通など)解決を現場と連携して支援

## *Global*

日本企業の海外展開を支援するソリューションの提供

# Public①無線通信技術の国際標準化調査

## 総務省

ミリ波・サブミリ波帯等における無線通信技術の国際標準化

## KKE

- 国際標準化会合への参加・寄与文書策定支援
- 国内関係者による意見交換会の開催
- 市販文献調査、アンケート調査、需要予測

2012年WRC(世界無線通信会議)  
参加者約3000名、うち日本代表団83名



当社が培ってきた通信関連技術＋データ解析技術

将来期待されているミリ波帯以上における世界の現状調査レポートを提案  
日本として不都合な周波数帯への他利用を阻止  
メーカー調査、市場規模、需要予測などの調査を実施

# Public②風力発電施設の制度設計業務

## 技術コンサルティング企業としての実績と評価

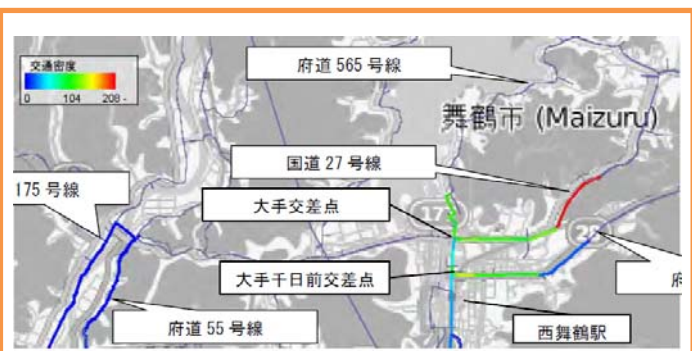
- 実績
  - 洋上を含む国内約300基の風力発電施設設計実績
- 一貫して請け負う技術力と組織力
  - 解析(風、振動)、設計、評価取得、大臣認定、建築確認まで
- 海外メーカーとの協働による競争力強化
  - アルストム、ベスタム、シーメンス、GEなど
- 産学連携
  - 建築学会、土木学会での継続的論文発表と委員会・WG活動
  - 東京大学、東京工業大学、日本大学、三重大学



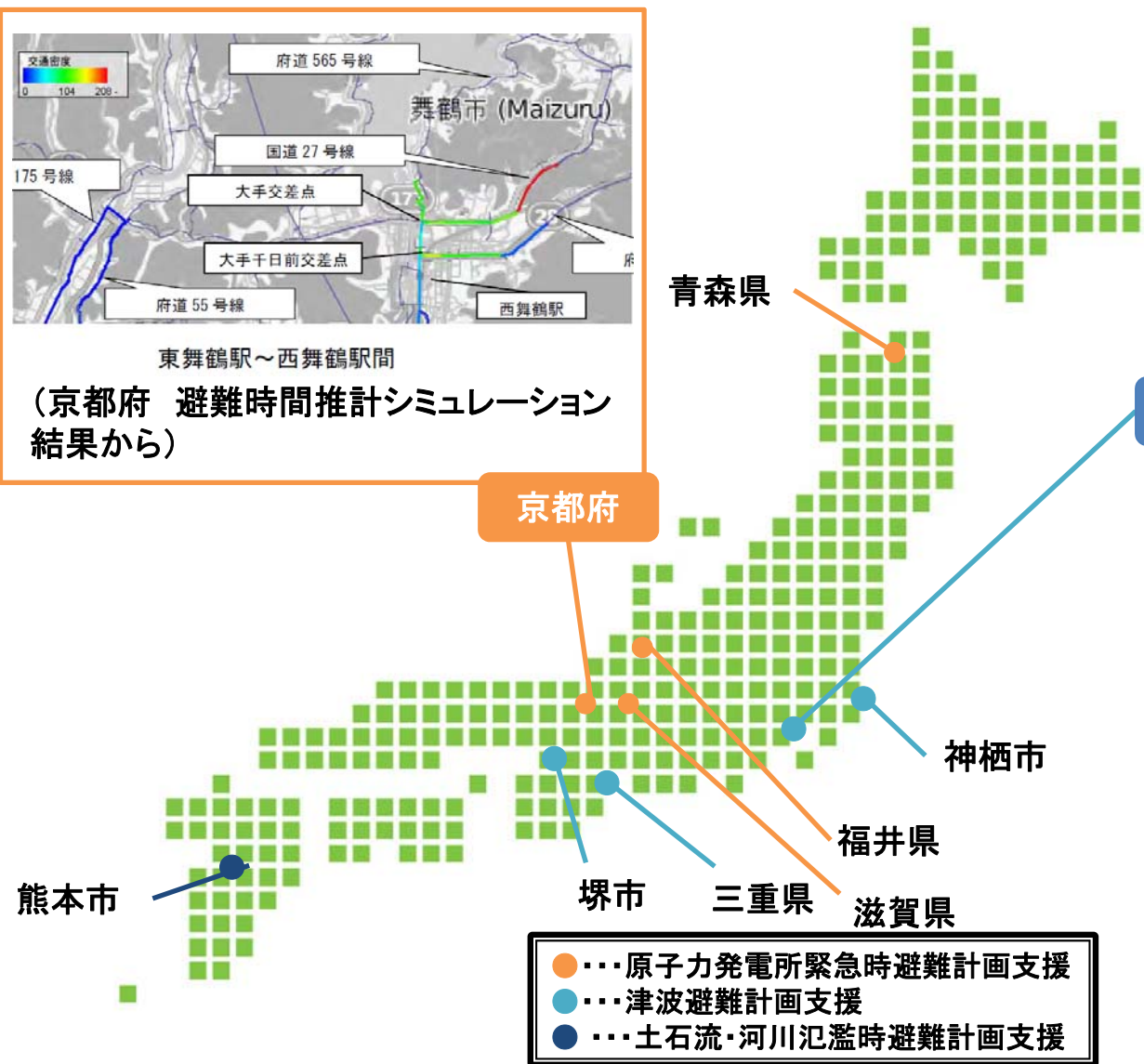
秋田港

- 経済産業省 平成25年度未利用エネルギー活用調査事業  
(風力発電支持物に係る安全性確認調査)  
⇒2014年4月1日 発電用風力設備に対する技術基準公布・施行

# Local ①防災計画支援コンサルティング



東舞鶴駅～西舞鶴駅間  
(京都府 避難時間推計シミュレーション  
結果から)



- ... 原子力発電所緊急時避難計画支援
- ... 津波避難計画支援
- ... 土石流・河川氾濫時避難計画支援

- KKEが保有する技術を複数組み合わせた多面的評価が可能
  - 災害・被害状況を時系列に可視化
  - 地域特性・個人特性を反映した避難行動の表現
  - 避難完了時間の推計 (ETE)
- あらゆる災害への応用が可能

## 鎌倉市

(鎌倉市公式ウェブサイト 津波避難計画)  
県想定南関東津波(由比ガ浜地区)



※動画の画面をダブルクリックすると、全画面で表示されます。

# Local ②中野新オフィス開設

## 中野新オフィス開設

□中野セントラルパーク内に位置

□中野区から打診を受け、新規事業創出と地域に密着した既存事業展開の促進が目的

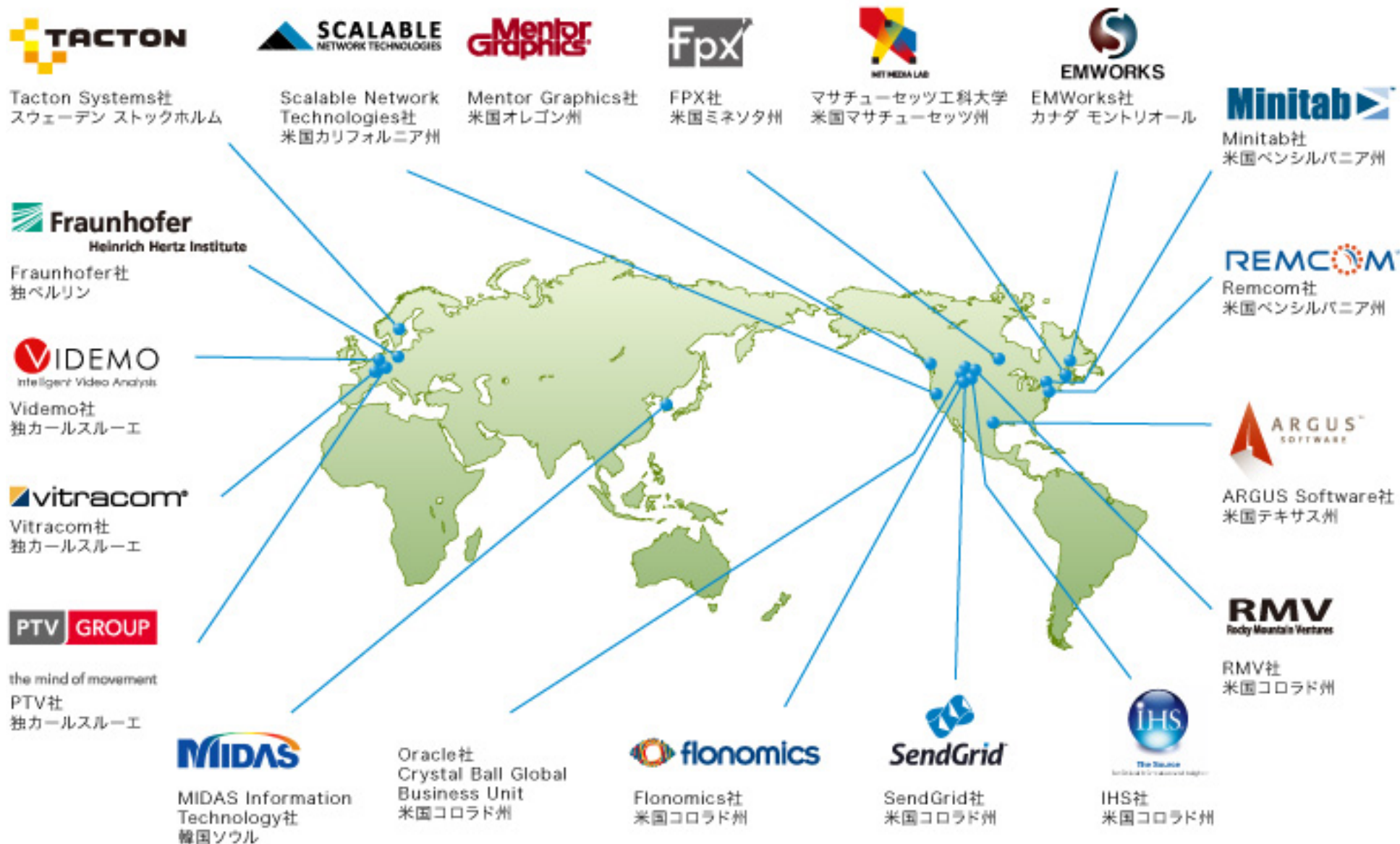


外観



執務スペース

# Global ①海外パートナー連携





## SendGrid社

- 2009年の創業以来、急成長を遂げているクラウドベースのメールインフラストラクチャー
- 今では月間100億通以上のメール（全世界で送信されるメールの約2%）を送信



日本向けサービス提供を2013年12月より開始



提携記念セミナーを六本木ヒルズで開催



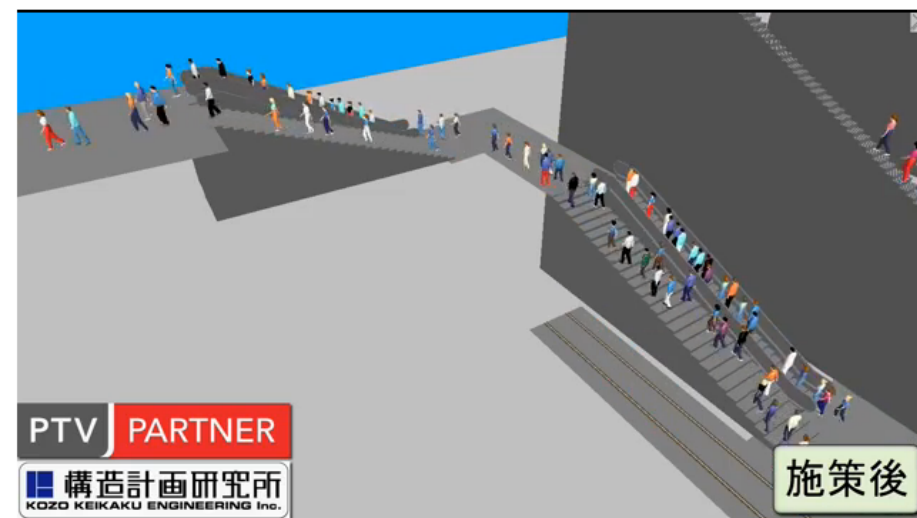
## PTV社



□世界100か国、3000以上のユーザに利用されている  
総合交通シミュレーションを提供

□ロンドン五輪開催中の市内交通シミュレーション実績を持つ

### 例)混雑解消の為の駅構内群衆シミュレーション



本シミュレーションは以下のURLから見る事が出来ます : <http://www.youtube.com/user/KKEPTV>

本日はお忙しい中お越しいただき  
誠にありがとうございました

今後とも何卒よろしくお願い致します

【お問い合わせ先】

株式会社構造計画研究所

法務部(担当:小山、松本)

T E L : 03-5342-1141

F A X : 03-5342-1241

E-MAIL : [ir@kke.co.jp](mailto:ir@kke.co.jp)

H. P. : <http://www.kke.co.jp>